

令和7年度第2回福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議に係る意見及び回答について

NO.	分類	質問箇所	質問、意見等	回 答
1	意見	資料P31	<p>福島第一原子力発電所4号機で使用されていた燃料取扱機について、表面汚染密度限度の1/10を超えないことを確認した上で構外に搬出し、福島第一原子力発電所に再送すると記載があるが、このような理由付けをすれば、あらゆるものを福島第一原子力発電所の構外に出すことができるという疑念を持つ方がいるのではないか。</p> <p>福島第一原子力発電所の構外に持ち出すための条件（受け取り手として、メーカーなどが必ずおり、有効活用される明確な理由が提示されている等の条件）については、もっと丁寧に説明する必要があるのではないか。</p>	<p>【東京電力】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>●4号機で使用した「燃料取扱機」は、メーカー工場へ輸送して改造を行い、1号機の「燃料取扱機」として有効活用する予定です。その際、法令に基づいて機器を運搬し、持ち出した機器類は全て、メーカー工場から福島第一原子力発電所に、2027年度を目途に再送する計画です。また、有効活用しない電気・計装部品、燃料把持機等は搬出せずに、構内にて保管致します。</p> <p>●発電所構外に物品を持ち出すために搬出する場合、「廃棄が目的の場合には、発電所構外に搬出しない」ことをマニュアル等でルール化しております。今後のご説明に際しては、より丁寧なご説明を心掛けてまいります。</p>
2	意見	資料P31	<p>福島第一原子力発電所4号機で使用されていたクレーン（燃料取扱機）についての説明があり、今後、1号機に使用するために改良を行うとの説明があったが、運搬する際や受け取ったメーカーに放射能汚染がないか疑問である。</p> <p>また、設備などは改修するより、必要があれば新たに制作した方が、廃炉に向けて時間がかからないと思う。</p> <p>さらに、廃炉に多額の費用がかかることについて説明があったが、今更費用の問題は重要なのか。</p> <p>時間がかかることは理解できるが、改修にどの程度時間がかかるのかなどが不透明であり、廃炉に向けて1日も早く終わらせようという姿勢が見えない。</p>	<p>【東京電力】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>●4号機で使用した「燃料取扱機」は、「東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則」に基づき、運搬経路やメーカー工場が汚染することがないように表面汚染密度限度の1/10を超えないことを確認した上で、構外に搬出する計画です。</p> <p>●「燃料取扱機」は、新たに1号機用に燃料取扱機を製作する場合と、4号機で使用した燃料取扱機を有効活用する場合とで費用面で比較した場合、概ね同じか、少し低減できると見込んでおります。</p> <p>また、新規製作した場合、新たに製作した燃料取扱機も廃棄物となりますが、4号機燃料取扱機を有効活用すれば単純計算では、「燃料取扱機 1基分」の廃棄物が削減できると考えております。</p> <p>●廃炉費用については、2018年度より「廃炉等積立金制度」が導入され、廃炉に必要な資金を東電がNDF（原子力損害賠償・廃炉等支援機構）に積立て、廃炉の実施に伴って取り戻すことで将来必要となる廃炉資金を確保する制度的措置が講じられました。廃炉に必要な資金については、廃炉等積立金制度の下に必要な資金をしっかりと確保し、機構の管理・監督の下、長期にわたる廃炉作業を完遂してまいります。</p> <p>●ご心配をお掛けしており、お詫び申し上げます。現在、国の中長期ロードマップや原子力規制委員会のリスクマップをベースに、廃炉作業を進めております。様々な調査などを通じて、徐々に得られる新たな情報や知見をふまえながら、作業員および周辺環境の安全を最優先に、計画的に取り組んでまいります。</p>
3	意見	自然災害対策について	<p>今後発生の恐れがある地震・津波・豪雨災害などに対する対策について、今回の会議では説明がなかった。</p> <p>廃炉の進捗等を確認する会議であるが、廃炉と放射能に関する説明だけで良いのか疑問に思う。</p>	<p>【事務局（福島県原子力安全対策課）】</p> <p>福島第一原子力発電所の自然災害対策につきましては、廃炉安全確保県民会議では、令和6年度第1回会議（R6.6.10開催）で議題として取り上げております。また、廃炉に関する進捗確認の中でも自然災害に係る事項がある時は、随時確認を行っております。</p> <p>資料等は福島県のホームページで公開しておりますので、ぜひご覧ください。</p> <p>【URL】https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/genan01/genan0611.html</p> <p>また、廃炉安全確保県民会議の説明事項につきましては、会議後にアンケートを実施するなどして、出席者の皆様にご意見をお伺いしておりますので、引き続き、出席者の皆様のご意見を参考にしながら、本会議を運営してまいります。</p>
4	意見	A L P S 処理水	<p>A L P S 処理水の保管していたタンクについて、解体後に十分に線量が低いものであれば、資源として福島第一原発の外に搬出することができるかもしれないとの説明があったが、それは当然のことだと思う。</p> <p>また、廃炉に多額の費用がかかることについて、事故を防ぐことができなかった結果であり、どれだけの費用がかかったとしても、東京電力は廃炉を早急に進める必要があるのではないか。</p>	<p>【東京電力】</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>●2020年から「廃炉中長期実行プラン」を策定して、先々を見越して戦略的に廃炉作業を進めております。</p> <p>●当社にとって、「福島への責任の貫徹」が最大の使命であることは、変わりません。</p> <p>引き続き、廃炉の貫徹、復興と廃炉の両立などに、グループ一丸となって取り組む所存です。</p>